

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄関係 沖縄返還協定調印式(1)（調印式次第. 首脳挨拶文）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43559">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43559</a>

基本方針

アメリカ局長  
参事官  
北米第一課長

就  
無期限

沖縄返還協定印式次第等  
46.5.21  
米E-(2E.06)

銅印式次第および注意事項を別添  
の如く作成(案)致はた。本件は  
且上官印と色を同一とし、当方  
の参考にて、此の点が起きたことを防ぐ。  
(Eとて日韓条約の際のものと参考とす)

GA 6

外務省

裁  
無期限

沖縄返還協定調印式次第等。

ア昭和四十一年五月四日

I. 一、日時、昭和甲子年、午後二時半より三時半まで。

(注) 通じて名づけられ。

一、場所、總理官邸

一、出席者、別添一(追加作成)

II. 次第

一、兩國代表國体調印式開始時刻より約一時間前  
官邸に集合。

二、入場(調印予定時間の約三分前)  
入場の際然るべき儀式外行なわる。

三、着席(二)間總理および關係閣僚が入場)

(注) 着席表別添二(追加作成)。

四、全體委任状の確認

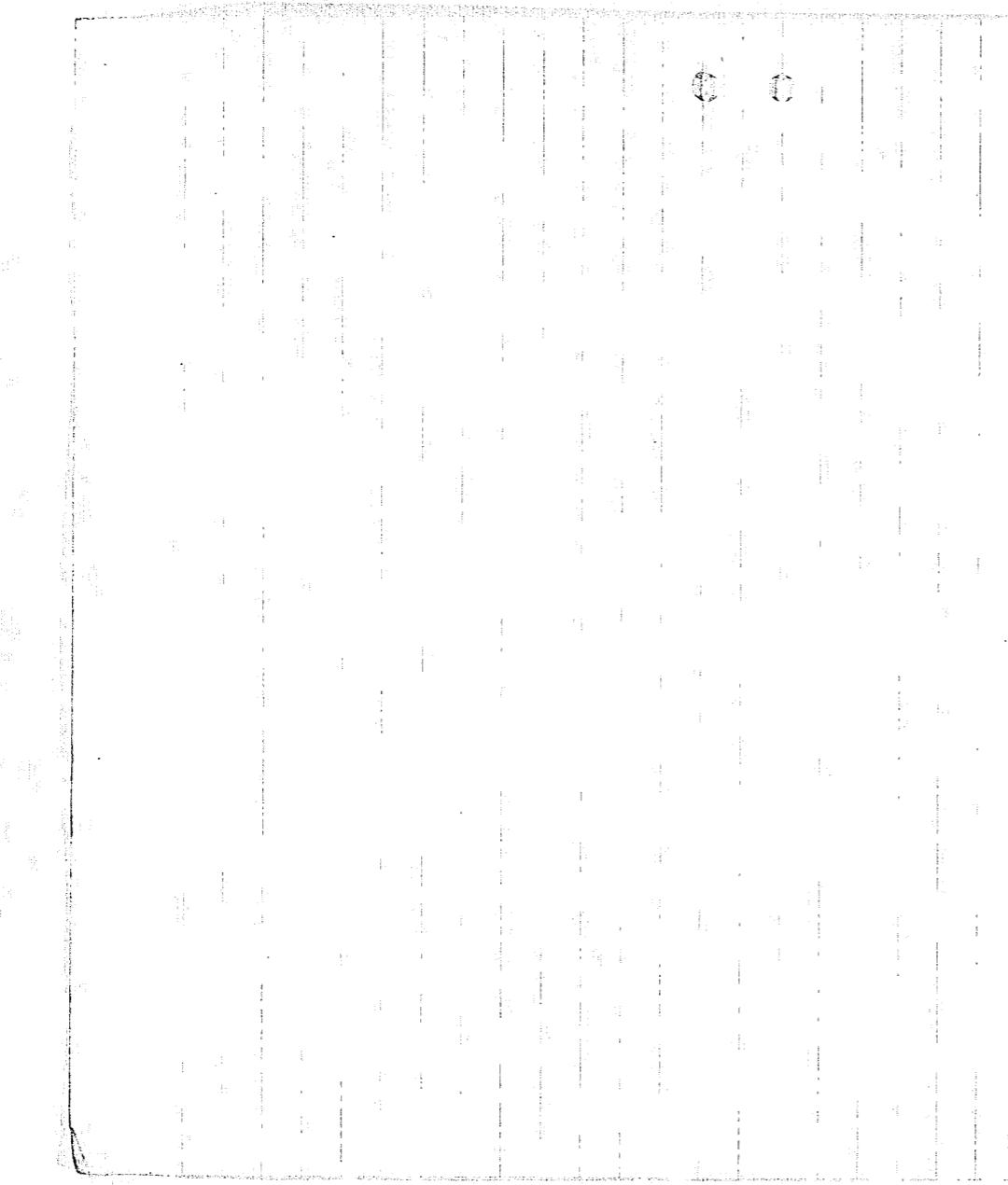
五、勘定文書と関連文書への署名。

六、倅知大臣とマニヤー大使握手。

七、倅知大臣接待(赤岩大臣通訳)

八、マニヤー大使接待(赤岩大臣補佐官通訳)

九	國歌吹奏（米國々歌、次之君が代）。
十	シヤンパンは乾杯（總理の祝言による。）
十一	終記者會見（出席者著者等よりある。）
(注)	了、（引き続々總理主催レセプションが行なわれる。）



就期限

沖縄返還切定調印式に関する注意事項

昭和四十六年五月  
アメリカ南北米一課

一、官印出入制限 (責任者)

- (1) 調印式開始時刻の二時間前から官印出入禁止。  
(註) 開催者およびアレクサンダーの腕章によるもののみ出入許可。
- (2) 自動車はスティッカーをついたもののみ出入許可(日、米、アレス)。
- (3) 調印式開催者、官印持者、アレス、米側、セイジン出席者に  
全2腕章配布(官印の腕章)。
- (4) アレスの自動車専用出入口限定。
- (5) 受付け

二、アレス (責任者)

- (1) 官印が配布する腕章使用。  
アレスの自動車は全て社旗使用。
- (2) 調印式場に入場取扱い子記者会社カタログ限。特別腕章。
- (3) テレビ放送関係者
- (4) フィルム取扱場所、取扱機会、写真撮映場所、機会限定。
- (5) テレビ掲示室設置。

三、日本側代表団、関係者 (責任者)

- (1) 控え室。  
(2) (3) (4) 腕章。  
署名関係文書  
近場所、外務大臣以下日本側関係者に対する取扱はあらかじめ決めて  
場所および時間に限定する。

四、アメリカ側代表団、関係者。(責任者)

- (1) 腕章リスト  
(2) 控え室  
(3) 姓名關係文書のための半間準備室は日本側の準備室の隣室である。  
(4) ベイタ大使、ナイター公使に対する取扱い、あらじの決のふた場所  
および時間に設定する。

五、問題点

- (1) プレス用の調印式次第を作成し、ブリスに配布する。  
(2) 受給大臣、ベイタ大使の接待文のアドバイス。および  
セパンニガオラ総理接待文のアドバイス。(主にアーヴィング)  
開きは次第等は別途作成。

六、その他注意事項

- (1) 敬禮  
当曰官邸、外務省(ヨウジヤス)にてモサカ予想ナシル。警察、  
官邸等を併合つておこなわれるが、  
内閣(ノンケツ)にてモサカ予想ナシル。

不<sup>可</sup>

2/6

外務省

外務省の調査報告書 74-7

(SA240分)

5.25 調査

調査書 5/24 の次回 - 調査報告書 74-7  
（2月27日午後）  
（調査文書）

1. 調査報告書式の提出、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
(調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている)

2. 調査報告書式の提出、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
（調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている）

3. 調査報告書式、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
（調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている）

GA-6 外務省

4. 調査報告書式の提出、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
（調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている）

5. 調査報告書式の提出、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
（調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている）

6. 調査報告書式の提出、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
（調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている）

調査報告書式の提出、履歴書類及び立派P3  
（外務省に提出された外務大臣の調査報告書式）  
（調査報告書式へ1番2つ下書きと3番  
の上書きが記入されている）

GA-6 外務省

請將此頁面之所有資料  
複印或影印後，  
依序裝入袋中。  
並於袋上註明  
「XX年XX月XX日  
XX班  
XX組  
XX人」  
之後，  
送交各級長官。  
切勿將此頁面  
與袋中之資料  
一併送交。

在  
此  
袋  
中  
請  
勿  
放  
入  
其  
他  
物  
品

大臣秘書官

官房総務参事官  
官房総務課長

アメリカ局長  
条約課長  
安全保障課長  
参事官  
北米第一課長

沖縄返還協定署式書  
(仮) 佐藤邦記入  
(3回目) 26.5.27  
外務-(2308)

1. 署名式 (於 総理官邸)

- (1). テーブル配色 (別添 1.)
  - (2). 日本側交渉当事者並びに、127席の内  
就列。~~出席~~
  - (3). 日本側交渉当事者と日本、各首脳  
「次官」ということの出席方依頼し、  
次官以下出席者を除く陳述次官外  
指名駕代の者と12名。
- (当席出席者並びに閣僚官房 別添 2)

2. シルエット (総理主席)

42ト別添 3.

3. 半側

以下半側へ人差等依頼中。

別添 1.

外務省	總務課	總理
署名用一式		
米	日本	合
(是)	日本 通 交 易 部 長 官 印	(是) 總 理 印
花押用一式		
當局者	總理	總務課
GA-6	外務省	

別添 2

署名式出席者(案)

1. 外務省

大臣

政務次官

事務次官

高瀬大使

アメリカ局長

条約局長

2. 各省

(注) 関係省庁 大臣(含法制局長官: [REDACTED])

事務次官(交渉当事者として前列)

(注) 総理府、法務省、大蔵省、厚生省、

農林省、通産省、運輸省、郵政省、

防衛庁、施設庁、対策庁(註)

(この他労働省、文部省、建設省、

自治省、最高裁等が考えられるが原

則として不要と思われる。)

3. 沖縄

屋 良 主席

星 立 法院議長

平 田 首席判事

4. 米側

(米側 [REDACTED] 案作成方依頼中)

別添 3

レセプション出席者(案)

1. 外務省(署名式出席者以外のもの。大臣、次官等の署名式出席者は当然含まれる)。

外務審議官

外務

官房長

大臣秘書官

官總參

アメリカ局參事官

米北一長

首席事務官 他

米保長

他

條約局長

條約局參事官

条約課長

首席事務官 他

協定課長

法規課長 他

2 各省

(1) 総理府

対策庁

渋谷 副長官

岩倉 副長官

総務部長

調整部長

(2) 法務省

刑事局長

民事局長 司法法制調査部長

官房秘書課長(沖縄窓口)

(3) 大蔵省

柏木 財務官 —— 鹿児島

主計局長

理財局長

前田 審議官

岡島 參事官

法規課長

(4) 文部省

沖縄復帰対策室(官房総務課長)

(5) 厚生省

官房長

MITI

医务局長

公衆衛生局長

官房総務課長

(6) 農林省

畜産局長

農林經濟局長

沖縄対策連絡室長

(7) 通産省

企業局長

通商局長

沖縄対策室長

(8) 運輸省

航空局長

港湾局長

同審議官

沖縄開発室長

(9) 郵政省

電波管理局長

沖縄対策室長

(10) 労働省

官房総務課長

(11) 建設省

沖縄対策室長

(12) 自治省

官房企画室長

(13) 内閣法制局

法制局次長

沖縄法制参事官

(14) 人事院

管理局法制課長

(15) 内閣総理大臣官房

官房田中参事官

(16) 公取

事務局官房総務課長

(17) 警察庁

沖縄復帰対策室長

(18) 土地調整委員会

総務課長

(19) 行政管理庁

官房総務課長

(20) 防衛庁

防衛局長

安田防衛審議官

(21) 防衛施設庁

施設庁長官

沖縄対策室長

(22) 経済企画庁

総合開発局下河辺参事官

(23) 科学技術庁

官房総務課長

(24) 最高裁

総務局第一課長

(25) 内閣審議室

山下内閣審議官

(26) 会計検査院

事務総局官房審議室長

3. 国会(議員)

(国会議にて作成中)

木尾  
引紙

4 その他

(1) 沖縄問題等懇談会

大浜座長

(2) 基地問題研究会

久住座長

(3) 在京沖縄県人会

会長

(4) 南方同胞援護会

吉田専務理事（大浜会長は沖懇座長を兼任）

(5) 日本健育会

末次評議員

(6) 琉球政府

屋良行政主席

星立法院議長

平田首席判事

東京事務所長

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(7) 日本銀行

(8) その他団体代表等（例 経団連他）

5 米側

在京米大にてリスト案作成中

別添 2

署名式出席者(案)

外務省

大臣

政務次官

事務次官

高瀬大使

アメリカ局長

米約局長

2 各 省

内閣省、法務省、大蔵省、厚生省、  
農林省、通運省、運輸省、郵政省、  
防衛省、建設省

(この他労働省、文部省、建設省、  
自治省、最高裁等が考えられるが原  
則として不要と思われる。)

3 沖縄

屋 良 主席

星 立 法院議長

平 田 首席判事

4 米 僕

(米僕 <sup>ハシ</sup>の案作成方依頼中)

別添 3

レセプション出席者(案)

1. 外務省(署名式出席者以外のもの。大臣、次官等の署名式出席者は当然含まれる)。

外務審議官

外務

官房長

官房参

アメリカ局参事官

米北一長

首席事務官 他

米保長

他

条約局長

条約局参事官

条約課長

首席事務官 他

協定課長

法規課長 他

2 各省

大臣秘書官

(1) 総理府

対策庁

浜 副長官

岩倉 副長官

総務部長

調整部長

(2) 法務省

刑事局長

民事局長

官房秘書課長(沖縄窓口)

(3) 大蔵省

柏木 財務官

主計局長

理財局長

前田 審議官

岡島 参事官

法規課長

(4) 文部省

沖縄復帰対策室(官房秘書課長)

(5) 厚生省

医務局長  
公衆衛生局長  
官房総務課長  
(6) 農林省  
畜産局長  
農林經濟局長  
沖縄対策連絡室長  
(7) 通産省  
企業局長  
通商局長  
沖縄対策室長  
(8) 連輸省  
航空局長  
港湾局長  
同審議官  
沖縄開発室長  
(9) 郵政省  
電波管理局長  
沖縄対策室長

(10) 労働省  
官房総務課長  
(11) 建設省  
沖縄対策室長  
(12) 自治省  
官房企画室長  
(13) 内閣法制局  
法制局次長  
沖縄法制参事官  
(14) 人事院  
管理局法制課長  
(15) 内閣機要大臣官房  
官房田中参事官  
(16) 公取  
事務局官房総務課長  
(17) 警察庁  
沖縄復帰対策室長  
(18) 土地調整委員会  
総務課長

- ⑨ 行政管理厅  
官房総務課長
- ⑩ 防衛厅  
防衛局長  
安田防衛審議官
- ⑪ 防衛施設庁  
施設庁長官  
沖縄対策室長
- ⑫ 経済企画庁  
総合開発局下河辺参事官
- ⑬ 科学技術庁  
官房総務課長
- ⑭ 最高裁  
秘書局第一課長
- ⑮ 内閣審議室  
山下内閣審議官
- ⑯ 会計検査院  
事務総局官房審議室長

3. 國会（議員）

（國会表にて作成中）

#### 4 その他

##### (1) 沖縄問題等懇談会

大浜座長

##### (2) 基地問題研究会

久住座長

##### (3) 在京沖縄県人会

会長

##### (4) 南方同胞援護会

吉田専務理事（大浜会長は沖縄座長を兼任）

##### (5) 日本健青会

来次幹部員

##### (6) 琉球政府

黒良行政主席

星立法院議長

平田首席判事

##### (7) 日本航空

朝田社長

木村業務室長

#### (8) 日本銀行

#### 5 米側

在京米大にてリスト製作成中

無期限

沖縄返協定調印式次第

昭和四十一年五月  
アキラカムヒタニ

I. 一、日時  
昭和四十一年五月一日  
午後二時  
(注: 通之じかアミンヒ) 二時  
分より  
分まで

一、場所 総理官邸

出席者: 別添一

II. 次第

一、両国代表団(調印式開始時刻より約二時間前)官印集合

二、入場(調印式定時間の約三分前)  
入場の際然るべき着装外行なわざ

三、着席(二時間総理大臣関係閣僚加入場)  
①着席表別添二

四、全體委任状の確認

五、勘定文書開連文書への署名

六、糸知大臣とマニヤー大使握手

七、糸知大臣挨拶(糸知大臣通訳)

八、マニヤー大使挨拶(マニヤー大使官通訳)

九 國慶祭(米國々歌、次に君が代)

X. シヤーパン(乾杯)、總理の登場による

ノルマニス(別添)、別添

翁朝

無期

## 沖縄返還協定調印式に関する注意事項

昭和四十年六月青

アメリカ局北米一課

### 一、官印出入制限 (責任者)

- (1) 調印式開始時刻の二時間前から官印出入禁止。  
(註)開催者およびアレスの腕章によるもののみ出入許可。
- (2) 自動車は入室。カーをつけるもののみ出入許可(日、米、アレス)。
- (3)(2) 調印式開催者、官印職員、アレス、米側、レセーフ等出席者に全員腕章配布(官印の腕章)。
- (4) アレスの自動車専用出入口限定。
- (5) 受付付

### 二、アレス

(責任者)

- (1) 官印外配布する腕章使用。
- (2) アレスの自動車は全て社旗使用。
- (3) 調印式場に入場取扱い子記有分がカネラジ部・特別腕章。
- (4) アレス控室設置。
- (5) テレビ放送の取扱場所、取扱機会、予算撮映場所・機会限定。
- (6) テレビ放送の件数。

### 三、日本側代表団、関係者 (責任者)

腕章。12枚。

控え室。

署名関係文書関係者のための準備室を設ける。(署名室にあらべく近場所)。

統理外務大臣以下日本側関係者に対する取扱はあらじの次の如き

場合および時間に応定する。

四、アメリカ側代表団、関係者(責任者)

(1) 腕章リスト

署名用捺印文書のための半側準備室は日本側の準備室の隣室で  
スティーブン・スミス公使館にて取扱い、あらかじめ用意した場所  
および時間に沿定す。

五、問題点

(1) アメリカの調印式次第を作成し、アレスに配布する。

(2) 参照大臣、マイヤー大使の挨拶文のアドバイス、および  
セサミーによる總理就締文のアドバイス。窓口アドバイント  
開き次第等は別途作成。

六、主な施設注意事項

(1) 敬意備考  
當日会場、外務省(おとくがくじょう)に対するモニタリング、  
食事等の手配についておく必要がある。予想されるので、警察、  
國交省等